

実施報告書

事業名：奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2021

開催期間：令和3年4月23日（金）から7月17日（土）

4月17日：まちづくり団体による大学向け対象エリア案内

4月23日（24日）：オンライン説明会

4月24日：オンラインまち歩き

5月28日：主催者オンライン会議・地元調査調整

6月～7月：各大学による地元調査（ヒアリング・アンケート）

開催日時：令和3年7月17日（土）12：00～16：30

場所：奈良公園バスターミナル レクチャーホール

参加人数：大人64名、学生43名（うち9名はオンライン参加） 合計107名

審査員：審査員長 奈良女子大学・京都大学名誉教授 増井 正哉 教授

鼓阪地区自治連合会 扇田 賢治 会長、有山 行基 副会長

佐保地区自治連合会 中島 佳彦 会長、岡崎 忠直 副会長

なべかつ 八木 富造 会長、倉本 宏さん

てんかつ 和東 海治郎 会長、山口 誠治さん

きたまちコンセント 倉橋 みどりさん

奈良市観光経済部長 仲西 範嘉 部長

主催・共催：畿央大学、奈良女子大学生生活環境学部住環境学科、奈良県立大学、鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会（なべかつ）、転害門前旧銀行建物活用協議会（てんかつ）、きたまちコンセント、奈良市

調査協力者：今在家町自治会、北袋町自治会、西笹鉾町第1自治会、西笹鉾町第2自治会、花芝町自治会、南半田西町自治会、奈良市立若草中学校、奈良県建築士会、あじあの薬膳おばんざい藍布、器人器人、koharucafe、ミジンコブンコ、なべかつ会員、てんかつ会員、他奈良きたまちエリアに居住される個人の方数名（順不同・敬称略）

審査結果

最優秀賞（1位）

奈良女子大学 空き家チーム

「学生サブスクシェアハウス」

優秀賞（2位）

奈良県立大学 NACS チームB

「地域教育のアップデートー愛着度に焦点を当ててー」

各部門賞（上位2チーム以外のチームより各審査員が選定）

- ・ 鼓阪地区自治連合会賞
奈良県立大学 NACS チーム A
「インターネットによるきたまちづくり～バスる・映える SNS 活用法～」
 - ・ 佐保地区自治連合会賞
奈良女子大学 路地探検隊
「誰でもきたまち路地探検隊！
ーきたまちにおける路地空間の価値とその活用についてー」
 - ・ なべかつ賞
畿央大学 カホナナホ
「これからの表構え」
 - ・ てんかつ賞
畿央大学 まちと地蔵
「地蔵を身近に」
 - ・ きたまちコンセント賞
畿央大学 店舗による店舗のための店舗設計
「観光と生活の融合」
 - ・ 観光経済部長賞
畿央大学 リボーン計画チーム
「空き家になる前に」
 - ・ 研究奨励賞
大阪経済大学 地域・社会調査奈良きたまち研究グループ
「経済学から考えるきたまちの魅力のマッチング」
- 畿央大学 きたまちらしさ探検 Lab
「きたまちらしきの探究」

特別賞（来場者投票）

奈良女子大学 空き家チーム
「学生サブスクシェアハウス」

テーマ：地域活性化	テーマ：景観	テーマ：建築・空き家
①奈良県立大学 NACS チーム A	⑤畿央大学 きたまちらしさ 探検 Lab	⑤畿央大学 リボーン計画チーム
②大阪経済大学 地域・社会調査 奈良きたまち研究グループ	⑥奈良女子大学 路地探検隊	⑦畿央大学 店舗による店舗 のための店舗設計
③奈良県立大学 NACS チーム B	⑧畿央大学 カホナナホ	⑧奈良女子大学 空き家チーム
④畿央大学 まちと地蔵		



開会



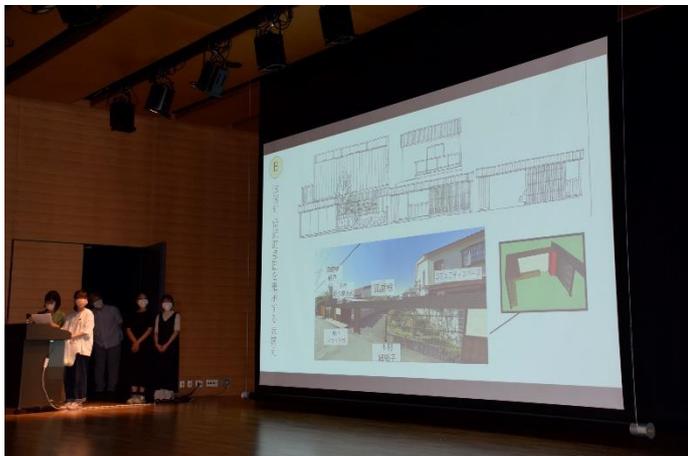
主催者挨拶



学生発表



学生発表



学生発表



学生発表



会場の様子



審査員長講評



審査員講評



表彰状授与



閉会の挨拶



記念撮影